

※マウスポインタをアンケートに移動しますと画面がスクロールします。
 ※アンケートは(Ⅰ)と(Ⅱ)からなり、(Ⅰ)は記入と選択、(Ⅱ)は6択一択となっています。
 ※誤入力もれのないようお願ひします。入力が終わりましたら最後に送信ボタンを押してください。
 ※アンケート(Ⅱ)は64質問あります。回答選択箇所(A~F)の内容は以下のとおりです。

A)全く同意できない(思わない又はしない)
 B)あまり同意できない(あまり思わない又はあまりしない)
 C)どちらでもない
 D)まあ同意できる(少し思う又は少しする)
 E)同意できる(思う又はする)
 F)わからない/どれにもあてはまらない

1	がん治療の副作用、副作用の軽減や緩和の程度を十分に理解している。	A	B	C	D	E	F
2	副作用における安全指針の内容を十分に理解している。	A	B	C	D	E	F
3	副作用の医療安全の確保のために一定の役割を果たすべきだと感じる。	A	B	C	D	E	F
4	安全指針を必自院では安全の確保の観点から厳格に守られている。	A	B	C	D	E	F
5	現在の状況を考えると自院の安全対策は十分であると考える。	A	B	C	D	E	F
6	医療を巡る安全に関する問題を掲げることが可能であると考える。	A	B	C	D	E	F
7	リスクを発生させまいと十分に注意を行っていると感じている。	A	B	C	D	E	F

※お忙しいところご回答いただき、ありがとうございました。送信ボタンをクリックしてください。

※マウスポインタをアンケートに移動しますと画面がスクロールします。
 ※アンケートは(Ⅰ)と(Ⅱ)からなり、(Ⅰ)は記入と選択、(Ⅱ)は6択一択となっています。
 ※誤入力もれのないようお願ひします。入力が終わりましたら最後に送信ボタンを押してください。
 ※アンケート(Ⅱ)は64質問あります。回答選択箇所(A~F)の内容は以下のとおりです。

A)全く同意できない(思わない又はしない)
 B)あまり同意できない(あまり思わない又はあまりしない)
 C)どちらでもない
 D)まあ同意できる(少し思う又は少しする)
 E)同意できる(思う又はする)
 F)わからない/どれにもあてはまらない

送信内容の照会
 内容確認後、画面下部の「送信」ボタンを押してください。

施設ID	001 (さっぽろ慈恵会病院)
症布コード	0000100
年齢	40歳
職種経験年数	25年目
性別	男
役職	科
役職名	師長
職種	薬剤師
質問1	a
質問2	e
質問3	d
質問4	e
質問5	c
質問6	d
質問7	b

http://www.onseifan.com/anserbrka/frame_01.htm

7>

※マウスポインタをアンケートに移動しますと画面がスクロールします。
 ※アンケートは(Ⅰ)と(Ⅱ)からなり、(Ⅰ)は記入と選択、(Ⅱ)は6択一となっています。
 ※誤入力されないようお願いします。入力が終わりましたらな鼠御に送信ボタンを押してください。
 ※アンケート(Ⅱ)は54質問あります。回答選択箇所(A~F)の内容は以下のとおりです。

- A) 全く同意できない(思わない又はしない)
- B) あまり同意できない(あまり思わない又はあまりしない)
- C) どちらでもない
- D) まあ同意できる(少し思う又は少しする)
- E) 同意できる(思う又はする)
- F) わからない/どれにもあてはまらない

質問38	f
質問39	b
質問40	d
質問41	b
質問42	b
質問43	d
質問44	b
質問45	c
質問46	c
質問47	b
質問48	c
質問49	c
質問50	d
質問51	d
質問52	b
質問53	e
質問54	f

http://www.onseifan.com/anserbrka/

8>

テーマ	医療機関の組織としての安全への取りくみと職員の安全への意識の実態を知る
調査者	野瀬 由和 国立保健医療科学領域医科学部(H14.10.15-H15.9.7)
調査目的	医療機関における安全文化の現状を把握することを通して、より実践的かつ具体的な医療安全対策の推進を促すこと さらに医療安全文化という新たな研究領域における、質と定量と調査手法の向上に向けて当該調査を通じて寄与することも目的とする。
調査期間	平成14年10月15日～平成16年3月7日
対象者	全職保 全職員の方
対象者への配慮	同意の得られた医療機関に回答してもらった
調査手法	自入力式質問紙、電子送付信法
分析手法	照集別、照集別者を中心にした集計、多変量解析、主成分分析など
文献	CPS: FY2000 Patient Safety Questionnaire 和訳4枚

この質問紙は匿名で集られ、集計された形での分析結果が公表されることはありますが、送付いただいた個別データが公開されることはございません。○月○日に回答をお願いいたします。

同意に同意される方は「同意する」をクリックしてください。【同意する】

研究者ID: (管理用)

パスワード: (管理用)

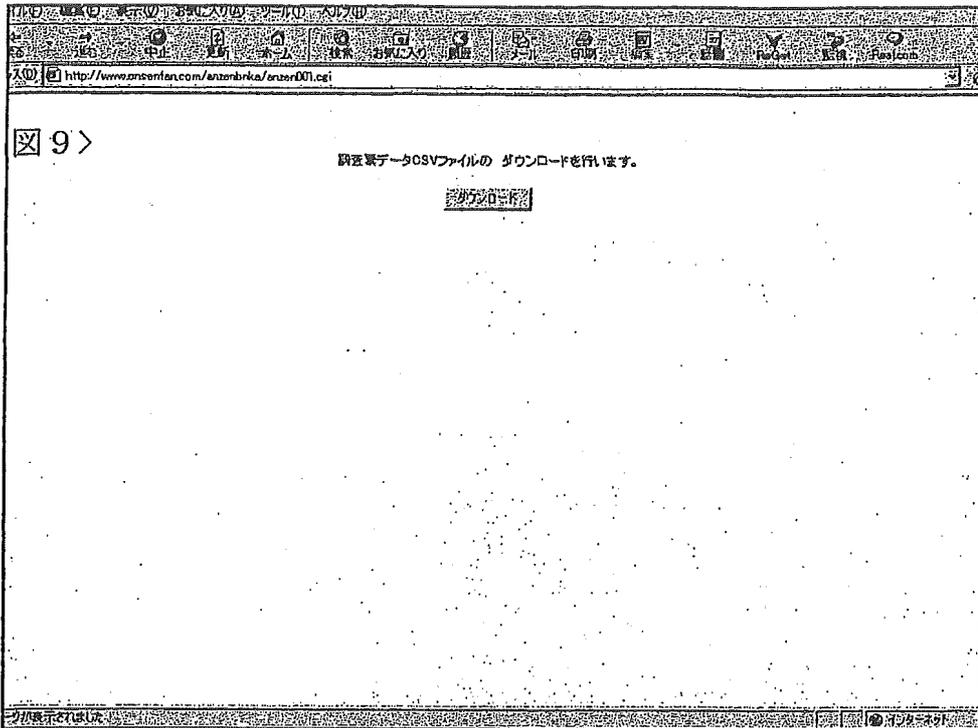


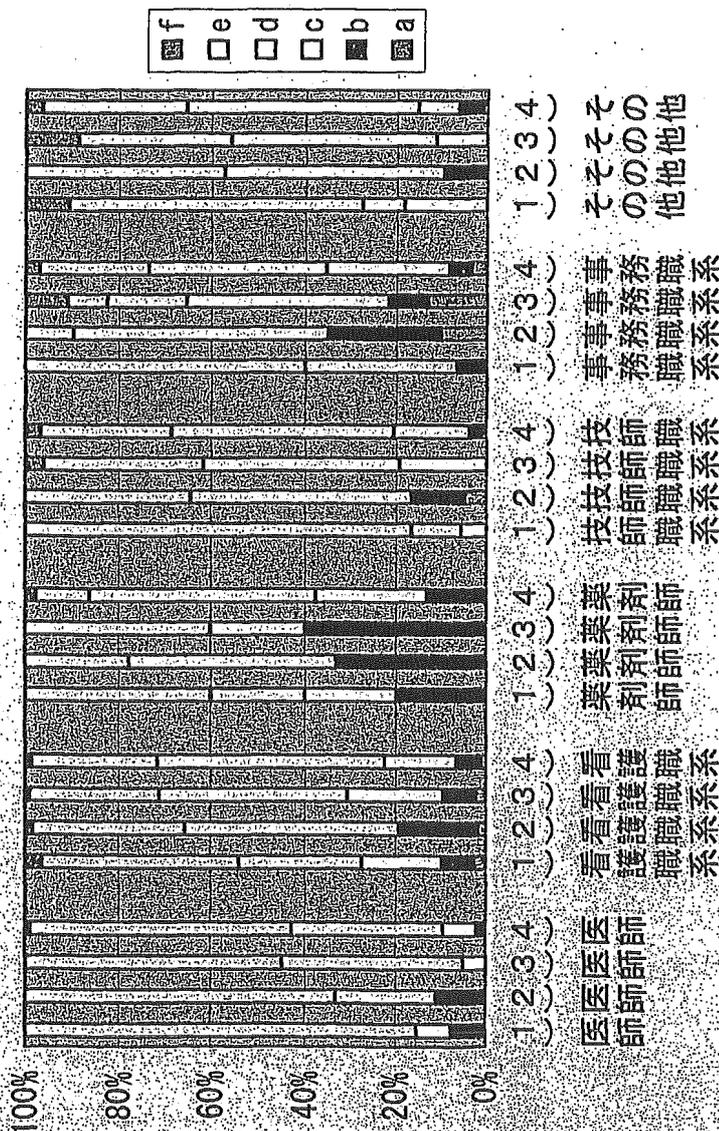
図10>

氏名	年齢	性別	職名	所属	備考
216	78	50男	名譽院長	医師	
304	22	3男	事務職員		
376	27	2男	その他	医師	
337	26	4男	介護福祉士		
281	25	2女	事務職員		
360	32	7女	医師		
292	28	4女	医師		
375	35	9女	医師		
234	51	28女	研究員	看護学助産師	
271	29	15男	その他	医師	
295	41	15男	その他	医師	
244	39	7男	保健	事務職員	
271	29	6女	医師		
284	25	11男	社会福祉士		
379	34	4男	事務職員		
258	29	5女	事務職員		
331	38	8男	主任	事務職員	
211	28	9女	主任	事務職員	
312	55	34女	担当	臨床検査技師	
280	37	18女	担当	理学療法士	
305	37	6女	事務職員	看護学助産士	
208	30	4女	事務職員	社会福祉士	
342	54	29男	専任	医師	
389	65	4男	専任	事務職員	
380	47	21女	主任	事務職員	
334	51	20男	研究員	看護学助産師	
242	32	10男	主任	理学療法士	
279	48	25男	次長	医師	
336	45	20男	研究員	医師	
363	43	17女	研究員	看護学助産師	
347	45	23女	研究員	看護学助産師	
340	28	4男	研究員	医師	
296	55	28女	研究員	看護学助産師	
203	49	22女	研究員	准看護師	
252	26	4女	研究員	作業療法士	
307	27	4女	研究員	研究助手	
274	50	19女	主任	看護学助産師	
371	43	27女	研究員	看護学助産師	
215	54	27女	主任	看護学助産師	
287	32	10女	研究員	研究助手	
288	26	3男	研究員	理学療法士	
348	46	22女	研究員	准看護師	
346	50	25女	研究員	准看護師	
289	30	5女	研究員	看護学助産師	
381	33	9女	主任	看護学助産師	

図表> 1

自分は職場での仕事を誇りにしている。

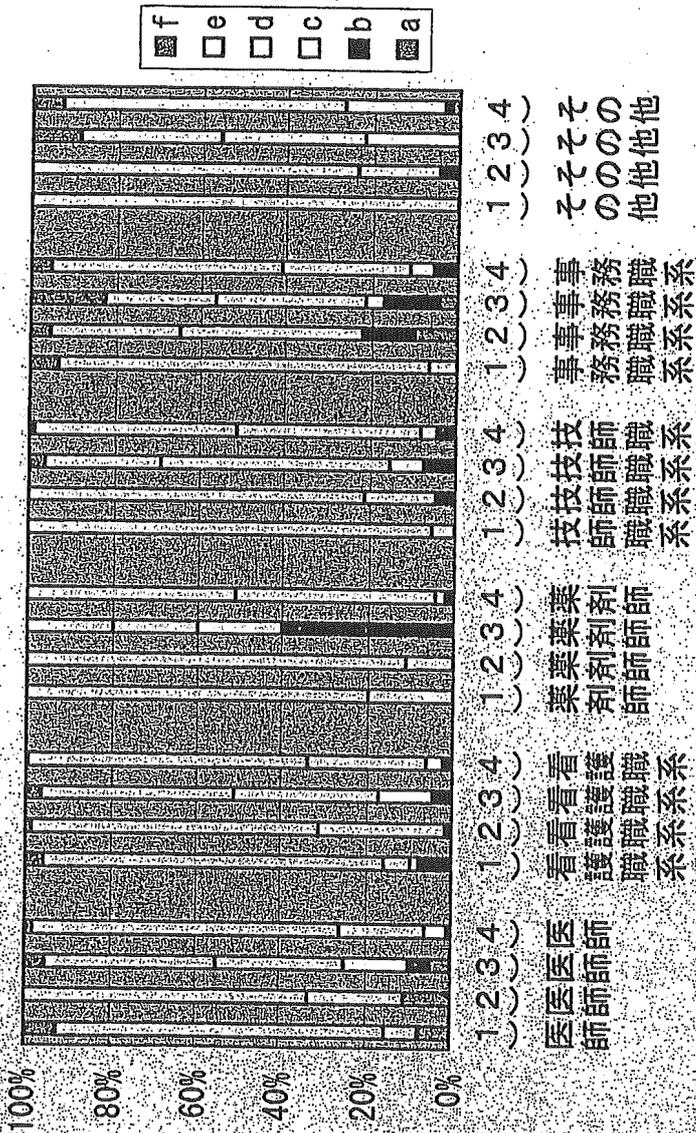
施設職種別比較質問4
(仕事への満足度)



図表> 2

自分の部署では「安全」が重要であると考えられている。

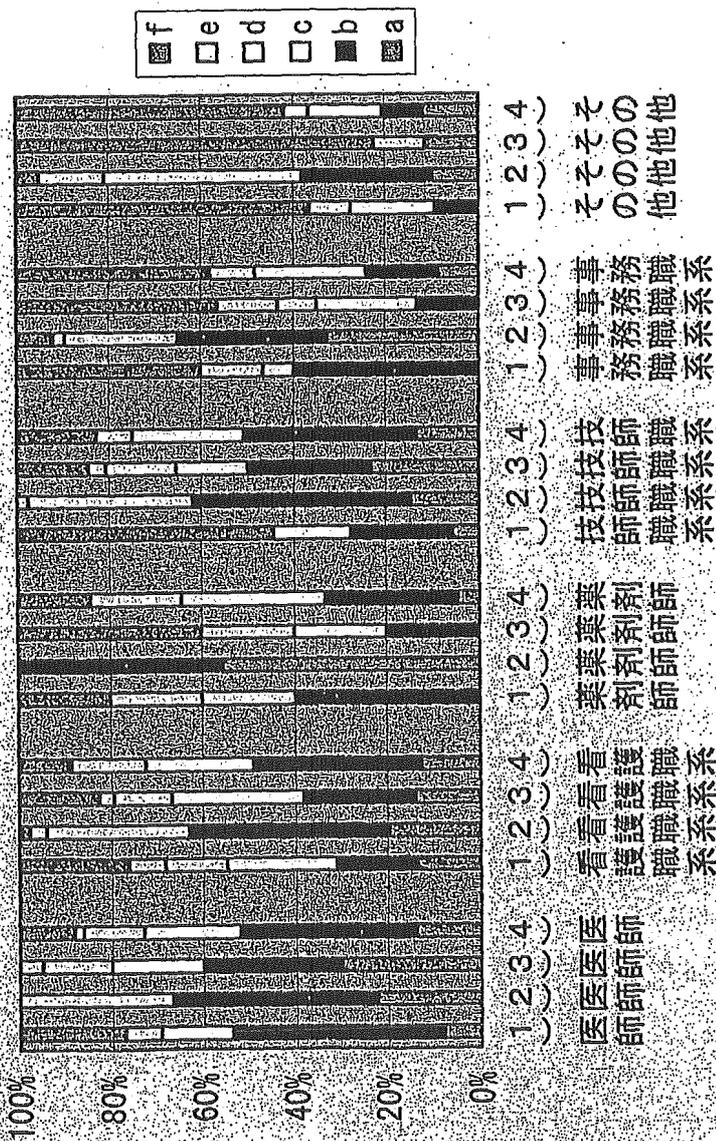
施設職種別比較質問1
(職場意識)



図表> 3

患者はしばしば自院の医療安全体制に対して苦情を言う。

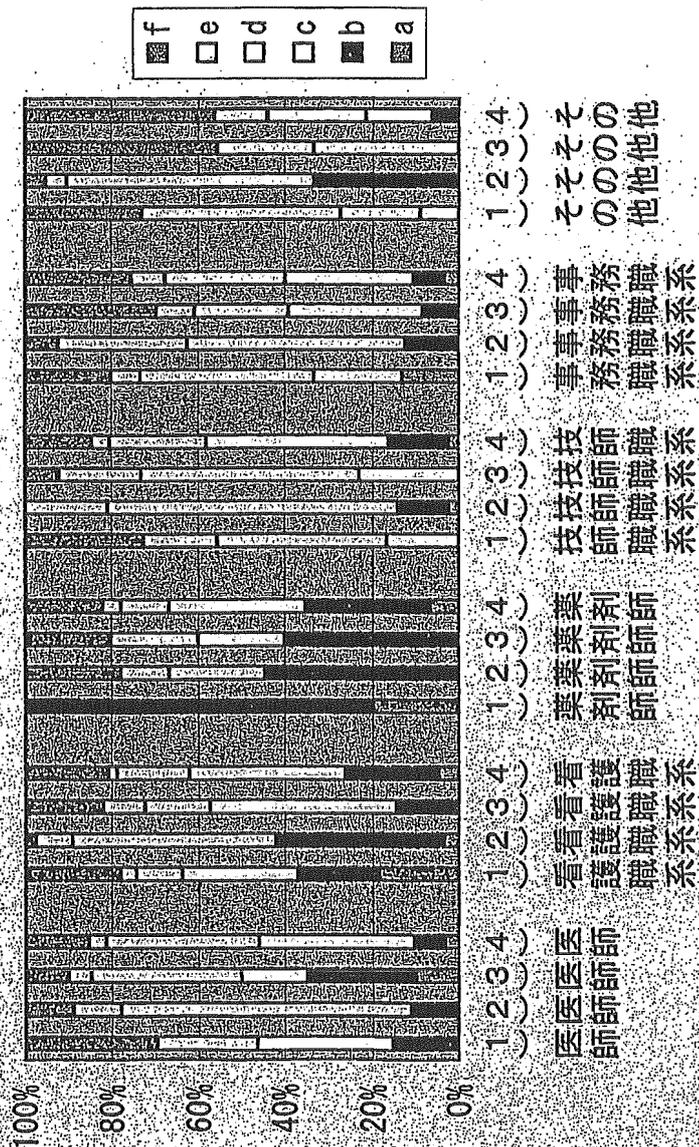
施設職種別比較質問15
(組織信頼度vsシステム)



図表> 4

自分の部署では他の部署に比べて平均的にニアミスが少ない。

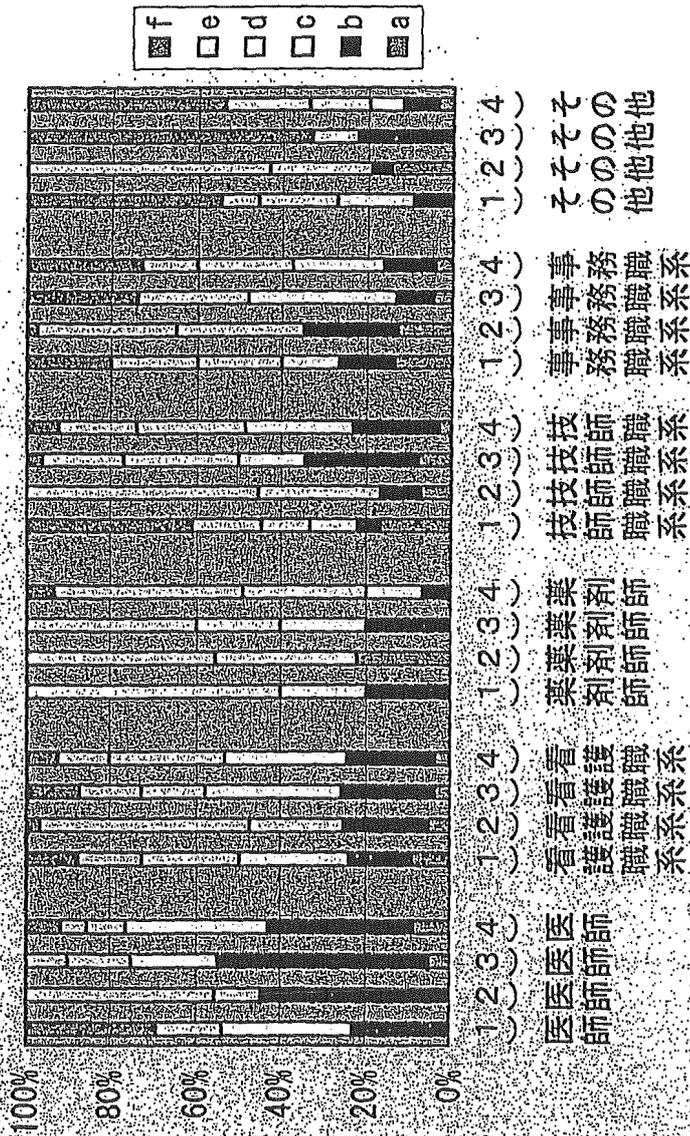
施設職種別比較質問-1
(組織信頼度と他組織)



図表> 5

自分の職場でのミスの多くは、重大な問題であることが多い。

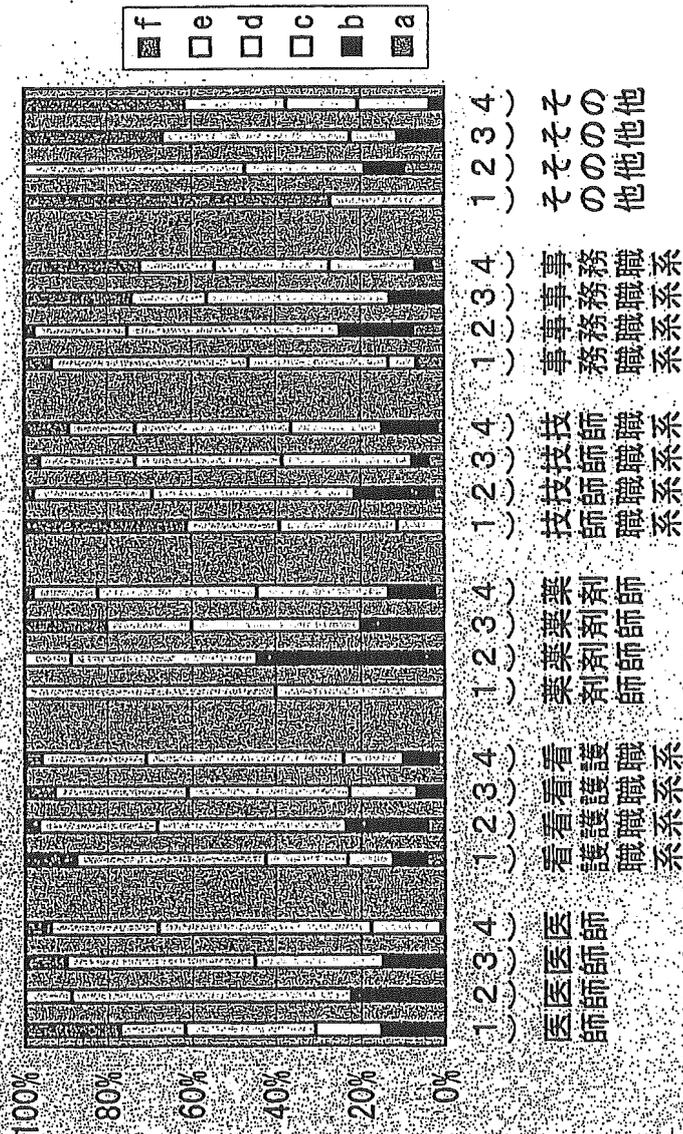
施設職種別比較質問4.2
(組織信頼度から一頻度)



図表 > 6

自院の職員は安全規則違反や安全を犯すような危険な行為や状況を進んで報告する。

施設職種別比較質問2.2
(失敗に対する文化やエラー報告)

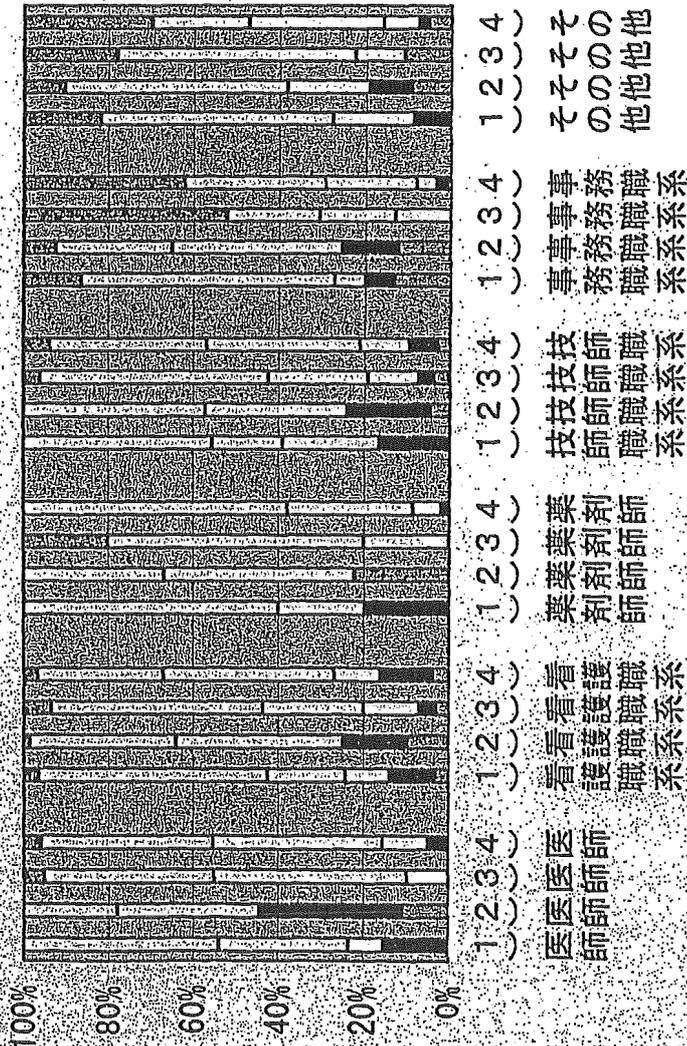


質問22	a	b	c	d	e	f	合計	d・e
1) 医師	0	2	2	4	2	3	13	46.2%
2) 医師	0	2	0	6	1	0	9	77.8%
3) 医師	0	3	6	9	0	2	20	45.0%
4) 医師	0	1	16	48	25	6	96	76.0%
							AV	61.2%
1) 看護職系	5	9	12	22	51	14	113	64.6%
2) 看護職系	5	23	0	53	34	4	119	73.1%
3) 看護職系	1	12	30	73	60	14	190	70.0%
4) 看護職系	13	62	107	349	190	31	752	71.7%
							AV	69.8%
1) 薬剤師	0	0	2	0	3	0	5	60.0%
2) 薬剤師	0	4	0	4	1	0	9	55.6%
3) 薬剤師	0	1	2	1	0	1	5	20.0%
4) 薬剤師	1	5	14	17	7	1	45	53.3%
							AV	47.2%
1) 技師職系	0	0	2	5	4	7	18	50.0%
2) 技師職系	1	8	0	20	12	1	42	76.2%
3) 技師職系	1	1	8	9	6	1	26	57.7%
4) 技師職系	3	29	46	79	35	23	215	53.0%
							AV	59.2%
1) 事務職系	1	0	1	5	7	1	15	80.0%
2) 事務職系	3	7	0	20	9	1	40	72.5%
3) 事務職系	0	3	10	4	0	6	23	17.4%
4) 事務職系	6	8	42	55	35	57	203	44.3%
							AV	53.6%
1) その他	0	0	0	0	3	8	11	27.3%
2) その他	2	2	0	6	11	0	21	81.0%
3) その他	0	1	0	1	4	3	9	55.6%
4) その他	0	4	19	19	27	43	112	41.1%
							AV	51.2%

図表> 7

自分が他の職員の前でミスを犯した場合、「恥ずかしい」と感じる。

施設職種別比較質問16
(失敗に対する文化→尊敬と恥)



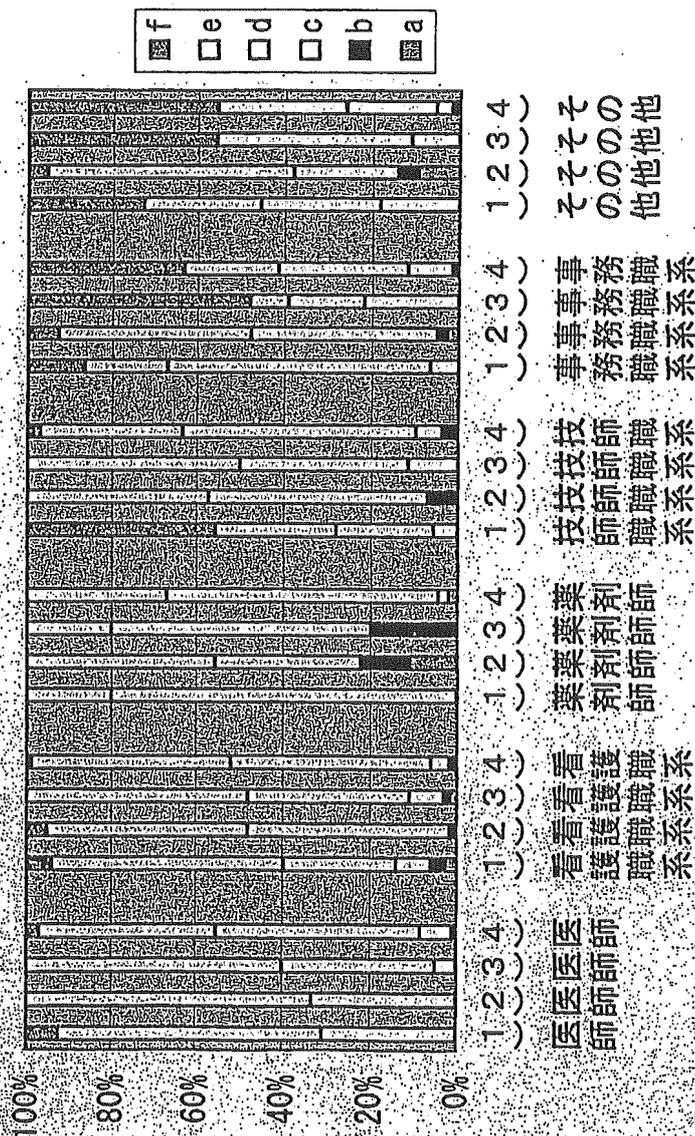
f e d c b a

1) 医師 2) 医師 3) 医師 4) 医師
 1) 看護職系 2) 看護職系 3) 看護職系 4) 看護職系
 1) 薬剤師 2) 薬剤師 3) 薬剤師 4) 薬剤師
 1) 技師職系 2) 技師職系 3) 技師職系 4) 技師職系
 1) 事務職系 2) 事務職系 3) 事務職系 4) 事務職系
 1) その他 2) その他 3) その他 4) その他

図表 8

これまで同僚が犯したミスから多くのことを学び、自分の診療行為や治療行為に役立ててきた。

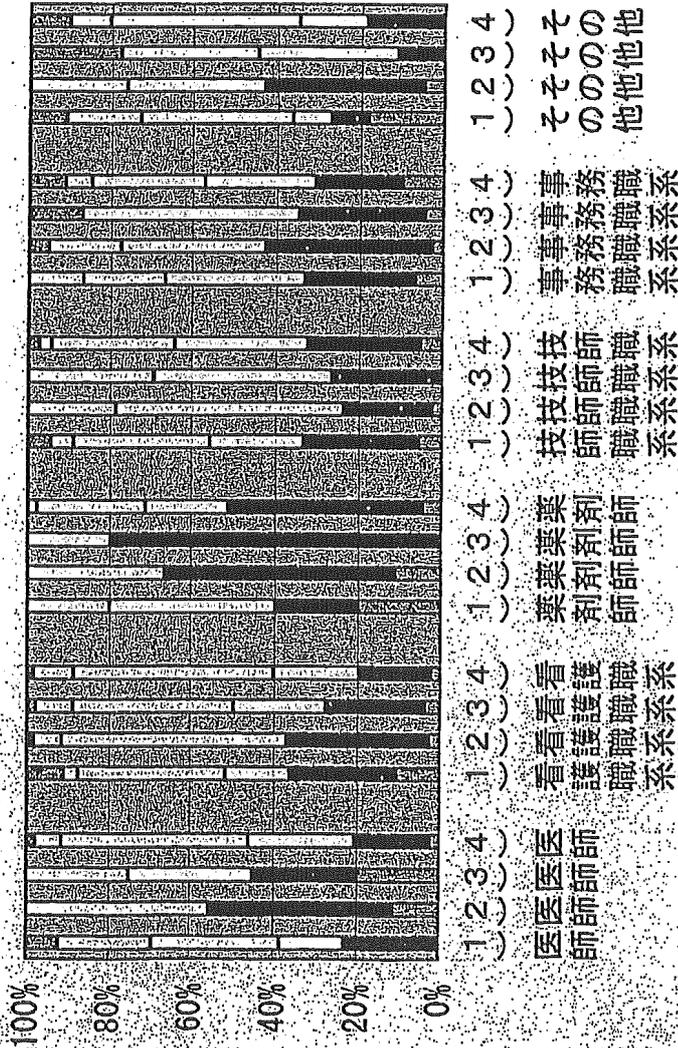
施設職種別比較質問25
(失敗に対する文化⇄失敗から学ぶ)



図表 9

職場内における安全教育及び訓練は十分である。

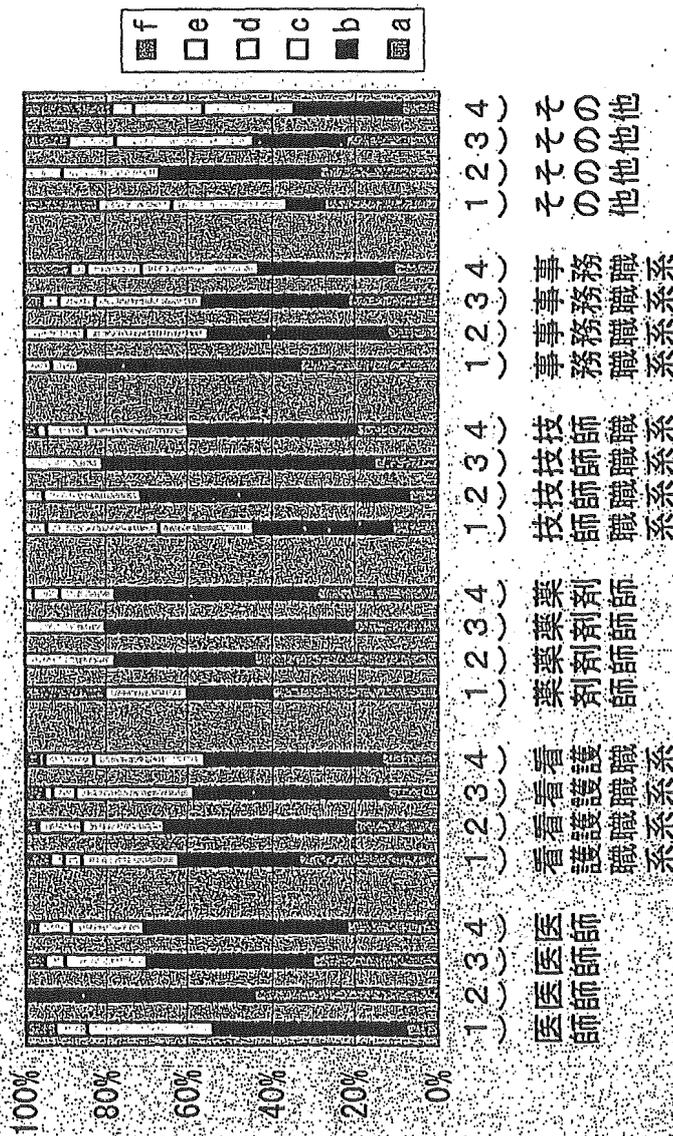
施設職種別比較質問10
(安全のための資源と訓練)



図表> 10

上司や同僚に対して異なる意見を述べるよりも、賛成することのほうが望ましいと思う。

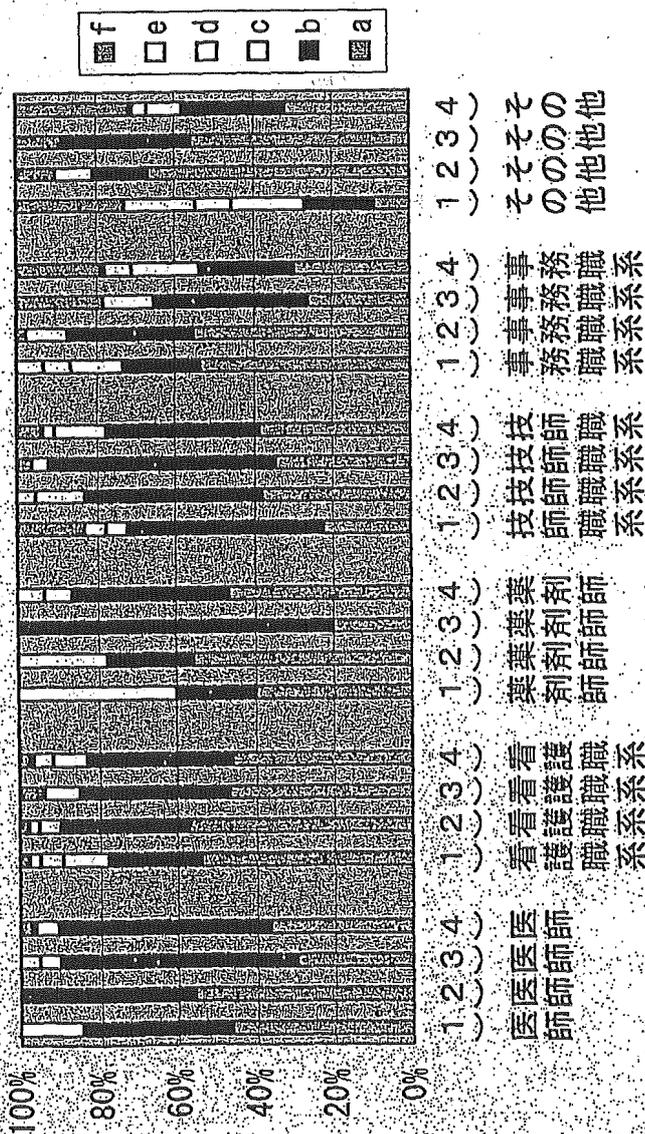
施設職種別比較質問3.4
(個人的な安全への倫理観)



図表 > 11

もし他の職員がミスをしたことに気づいても、本人を含めて他の人には何も言わない

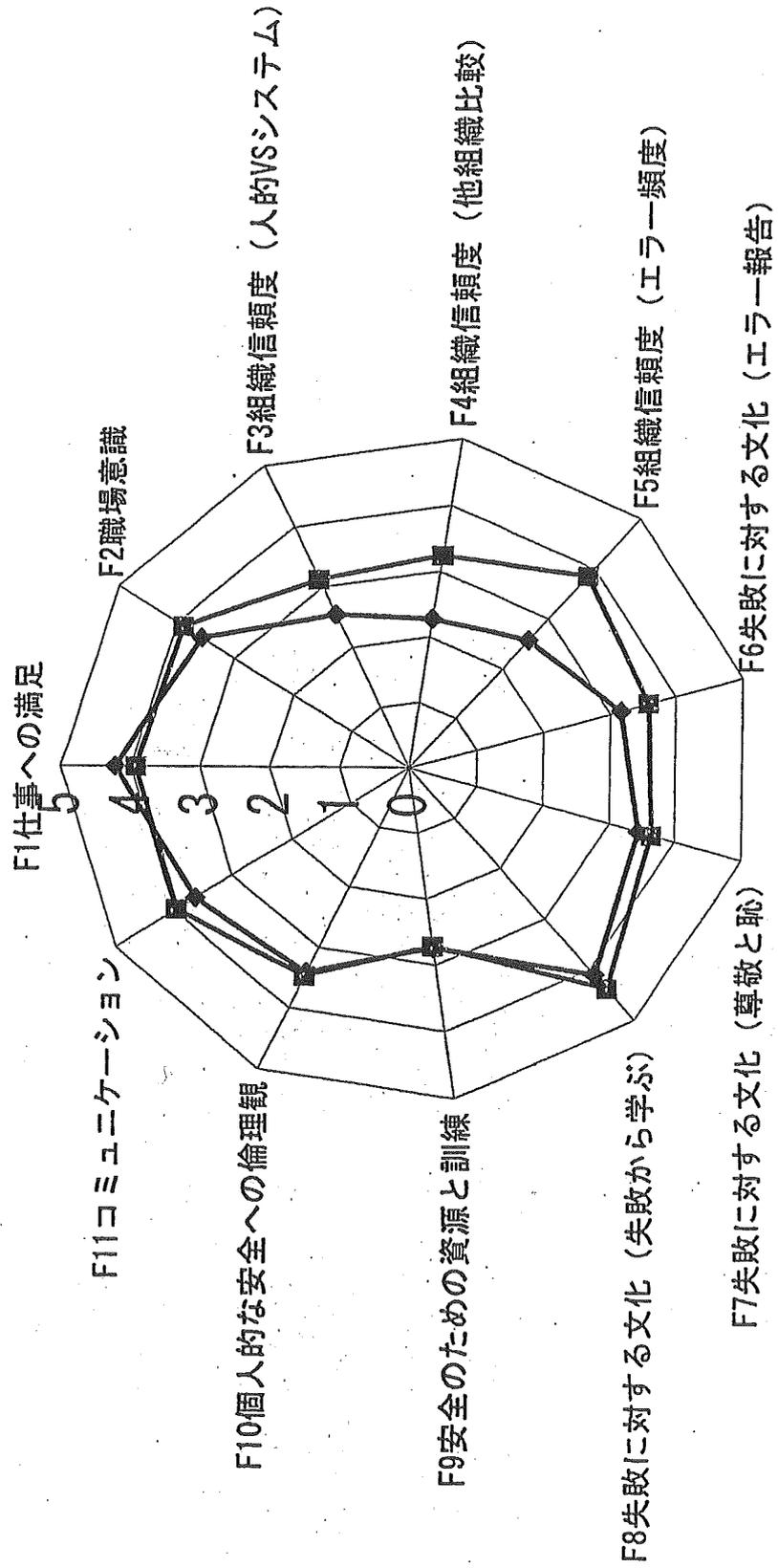
施設職種別比較質問19
(コミュニケーション)



質問19	a	b	c	d	e	f	合計	d・e
1) 医師	6	5	2	0	0	0	13	0.0%
2) 医師	5	4	0	0	0	0	9	0.0%
3) 医師	6	12	1	1	0	0	20	5.0%
4) 医師	35	52	5	1	0	3	96	1.0%
AV								1.5%
1) 看護系	61	27	13	6	3	3	113	8.0%
2) 看護系	68	39	0	6	3	3	119	7.6%
3) 看護系	89	73	16	1	0	11	190	0.5%
4) 看護系	346	280	63	35	6	22	752	5.5%
AV								5.4%
1) 薬剤師	2	1	2	0	0	0	5	0.0%
2) 薬剤師	5	2	0	2	0	0	9	22.2%
3) 薬剤師	1	4	0	0	0	0	5	0.0%
4) 薬剤師	21	18	3	3	0	0	45	6.7%
AV								7.2%
1) 技師系	4	9	1	1	0	3	18	5.6%
2) 技師系	16	19	0	5	2	0	42	16.7%
3) 技師系	9	15	1	0	0	1	26	0.0%
4) 技師系	83	84	28	6	1	13	215	3.3%
AV								6.4%
1) 事務系	8	3	2	1	1	1	15	13.3%
2) 事務系	22	13	0	4	0	1	40	10.0%
3) 事務系	6	9	3	0	0	5	23	0.0%
4) 事務系	61	48	35	14	2	43	203	7.9%
AV								7.8%
1) その他	1	2	2	1	2	3	11	27.3%
2) その他	14	3	0	2	0	2	21	9.5%
3) その他	5	3	0	0	0	1	9	0.0%
4) その他	36	29	10	4	1	32	112	4.5%
AV								10.3%

因子分析施設比較

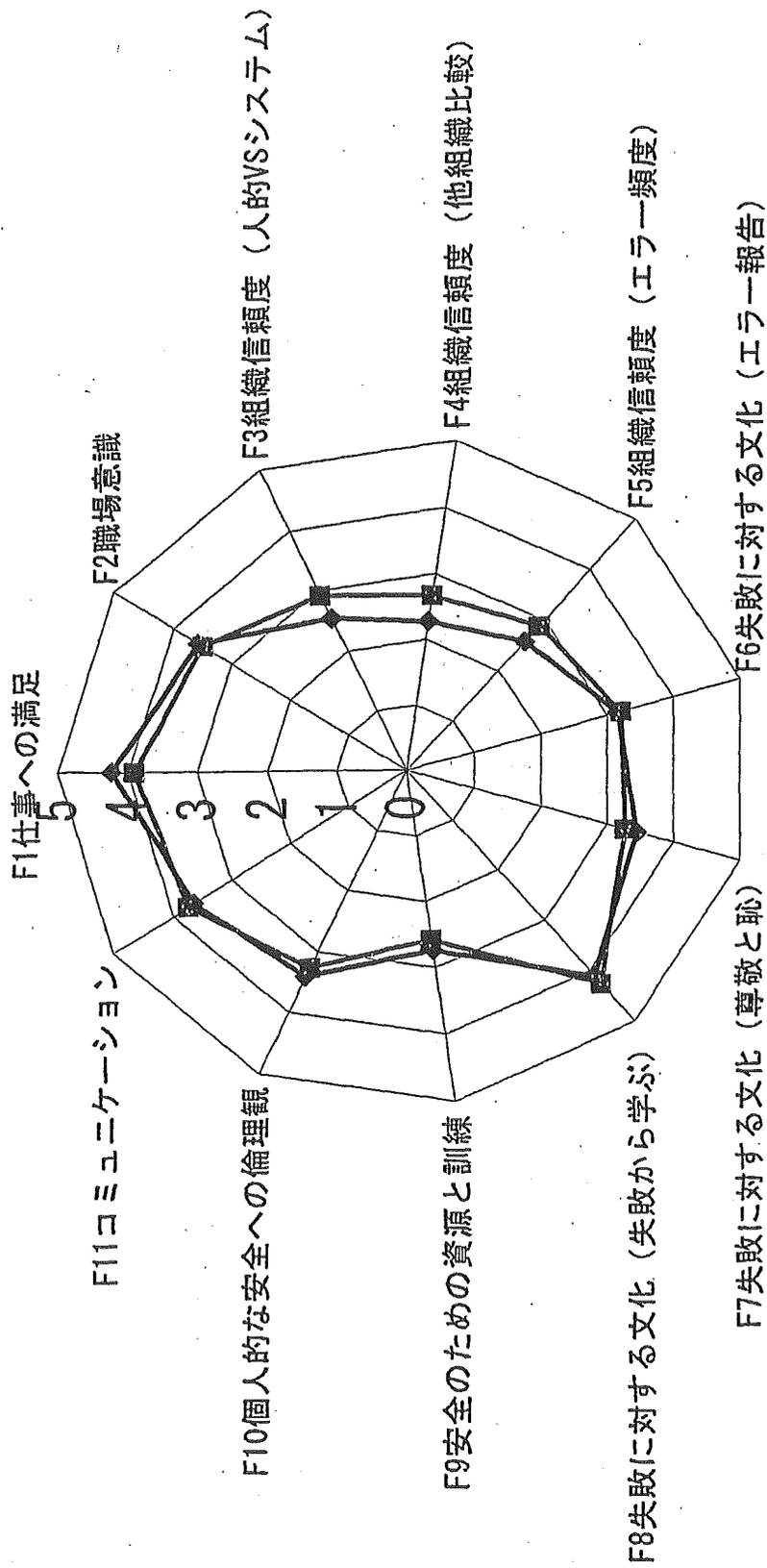
図表12> 施設比較 (1-2)



◆ 施設1 ■ 施設2

因子分析施設比較

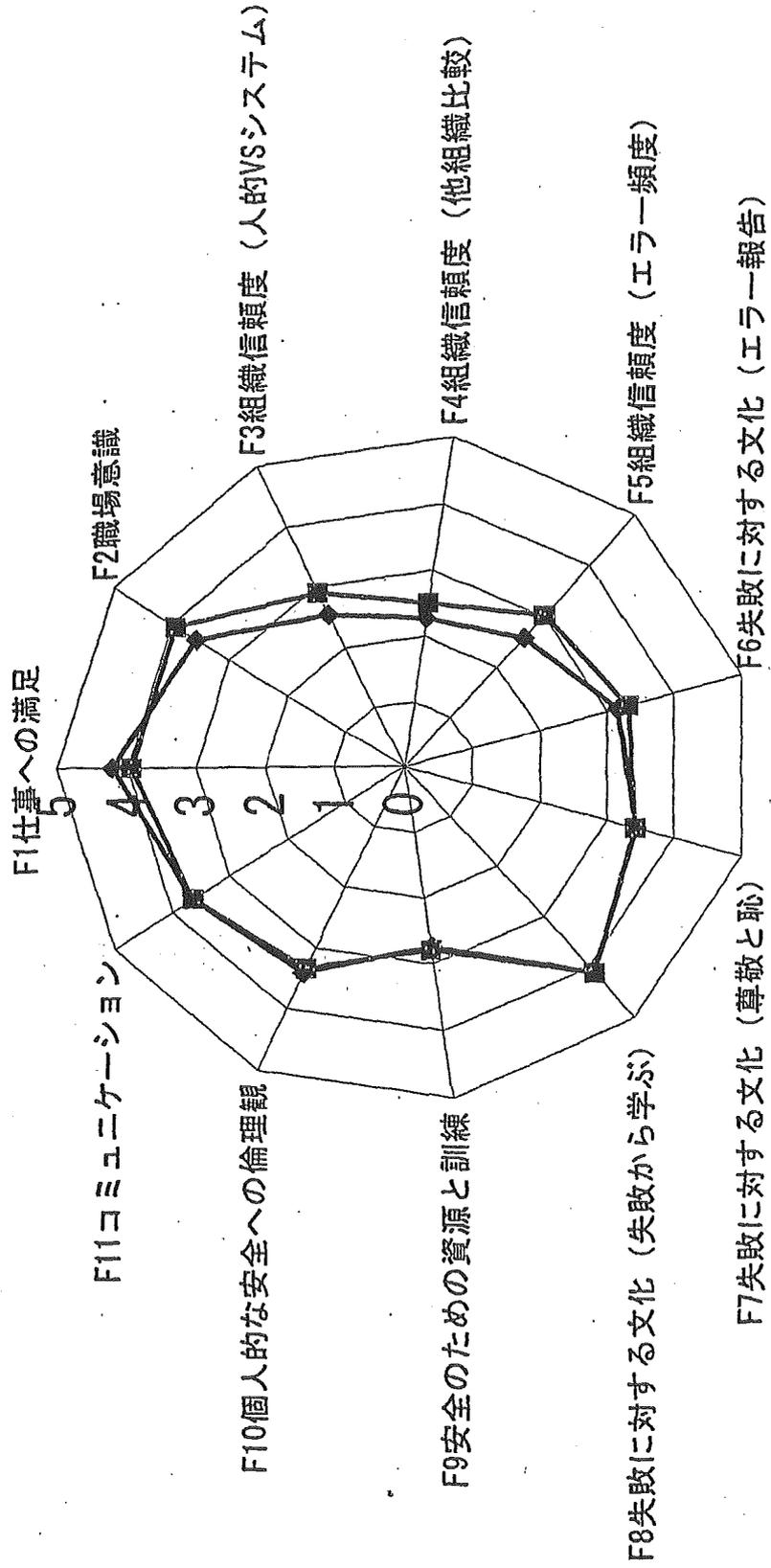
図表13> 施設比較(1-3)



◆ 施設1 ■ 施設3

因子分析施設比較

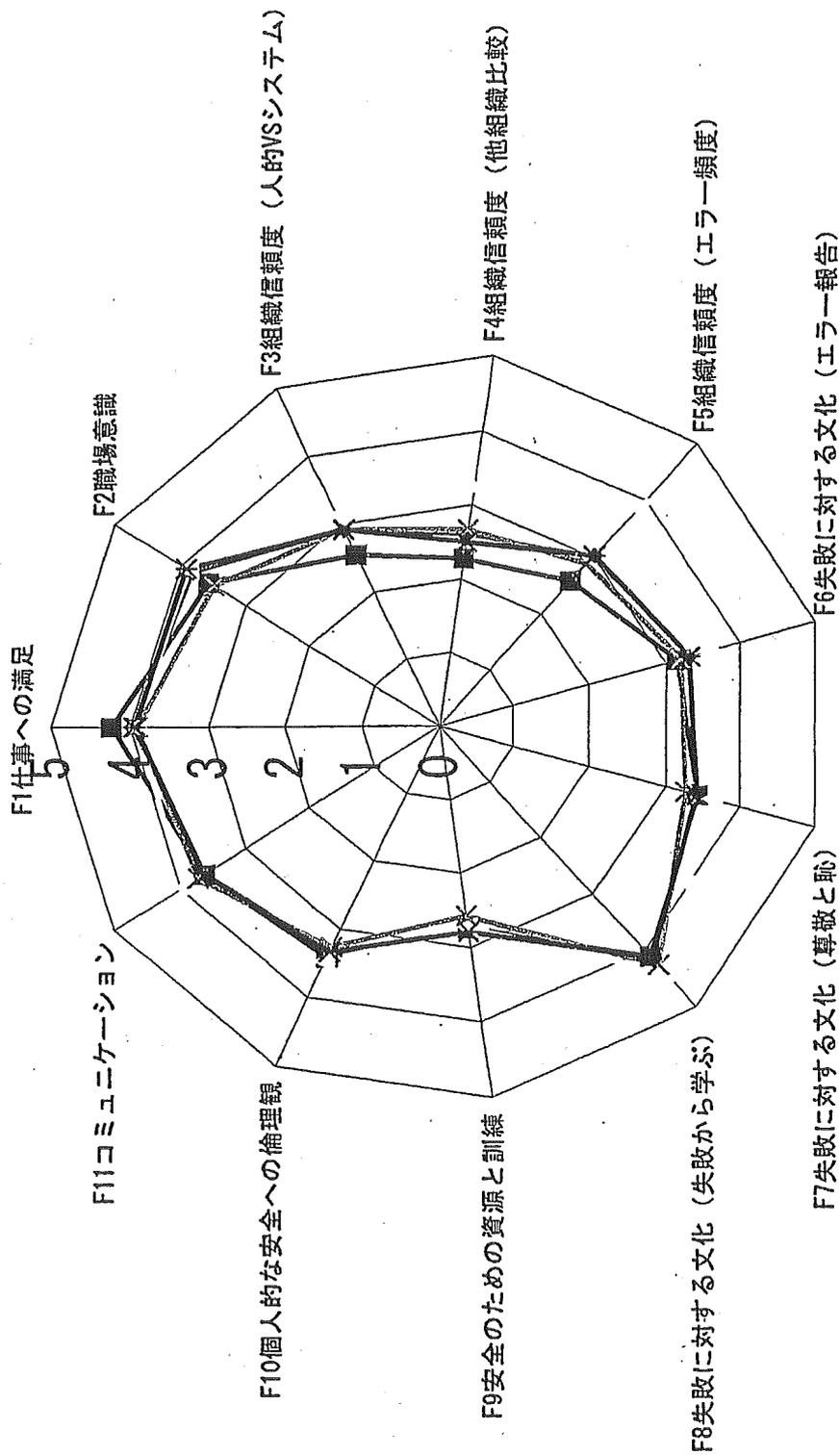
図表14>施設比較(1-4)



◆-施設1 ■-施設4

因子分析施設比較

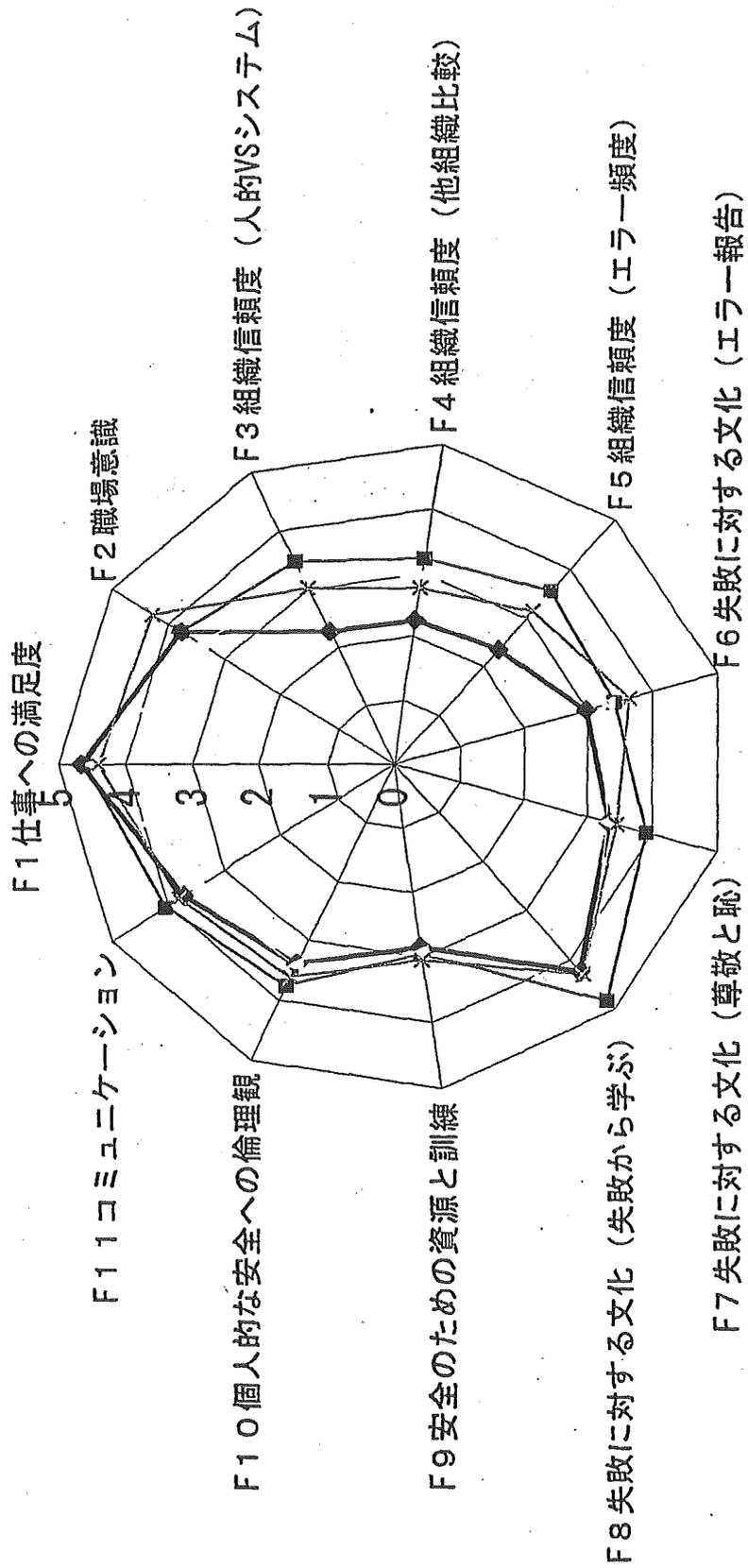
図表15> 全施設比較



—●— 全体 —■— 施設1 —×— 施設2 —*— 施設3

因子分析結果（施設・職種別比較）

図表16 医師の比較



—◆— 医師1 -■- 医師2